

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策3 財政健全化に向けた改革の推進
---------	--------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	税務課長 内田 詔巳	電話番号	0852-22-5891
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	県税の広報事務		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	広報活動により、公共サービスを支える財源である県税に対する理解を深め、納税意識を醸成することにより納期内納付の促進等を図る。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県税への理解を深め、期限内納付や自主申告を促進するために、県民に対して、マスメディア、HP、印刷物等を利用して県税に対する情報を提供する。</li> <li>・税の大切さを考え、理解させるため、小・中・高の児童生徒に対し、授業において租税教室を開催する。</li> </ul>		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	自動車税の納期内納付率（定期賦課台数ベース）	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	納期内納付台数 ÷ 定期賦課台数（課税免除等、納通返戻除く）	目標値		78.30	78.90	
			実績値	77.70	78.50	79.40	80.80		
			達成率		100.30	100.60	101.70		%
指標名	式・定義	自動車税の納期内納付率（定期賦課台数ベース）	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	692	2,695
うち一般財源(千円)	692	2,695

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

納税義務者が最も多い自動車税の納期限に向け、テレビ、ラジオ、新聞、市町村広報誌、HP、ポスター、チラシ、のぼり、懸垂幕など前年度に引き続き、多種多様な媒体を活用して広報を展開した。児童生徒に対する租税教育も、将来の納税者の納税意識醸成に向けて、租税教室及び絵はがきコンクールを実施した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

自動車税の納期内納付率が前年度より1.4ポイント向上した。（H26年度の期限内納付率は80.8%）小・中・高の児童生徒の租税教室（租税教育推進協議会事業）を県内368校中で319校で実施（H26年度）

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

自動車税の納税者の約20%が納期内に納付していない。

②困っている状況が発生している「原因」

納税者の税に関する理解と認識が不十分である。納税環境の整備（コンビニやペイジーの利用）が浸透していない。

③原因を解消するための「課題」

納期内納付に向けた広報の一層の充実を図る必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・県民が県税に対する理解と認識を深めることは、本事業の目的である納期内納付の促進はもとより、貴重な自主財源の確保につながる。  
 ・そのためには、税に対する広報を効果的かつ効率的に実施することで、税のしくみなどを知らせていただくことが重要である。  
 ・具体的には、毎年度策定する「税務広報計画」で決定するが、様々な媒体を活用するとともに、県HPの一層の充実を図っていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）